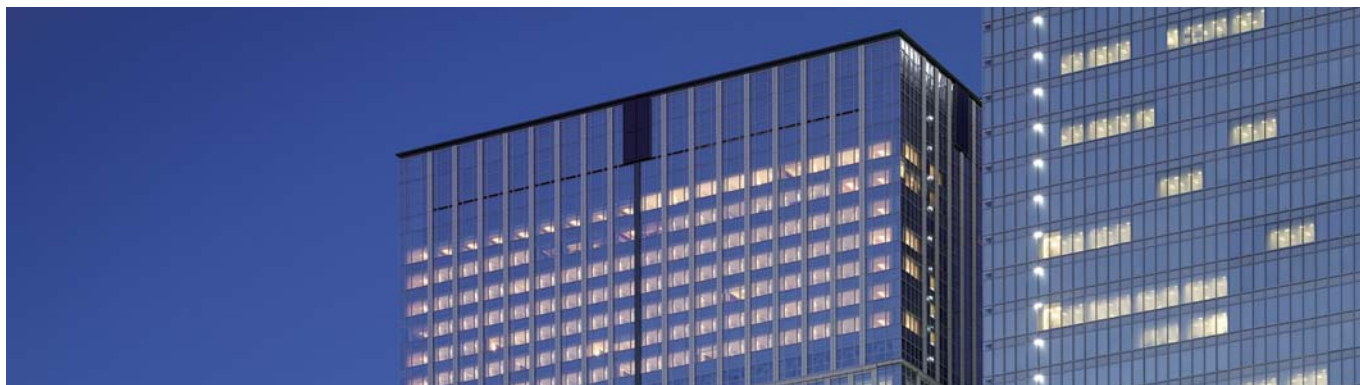


シャングリ・ラ ホテル 東京



館内 Wi-Fi カバレッジ強化および通信速度向上 クラウド管理で運用負荷を軽減



製品 & サービス

- ・ Cisco Meraki MR33 無線 LAN アクセス ポイント
- ・ Cisco Meraki MR30H アクセス ポイント
- ・ Cisco Meraki MS250 スイッチ
- ・ Cisco Catalyst LAN スイッチ 4500 シリーズ

課題

- ・ ネットワーク、ワイヤレス アクセス ポイント機器の老朽化、故障対応負荷
- ・ Wi-Fi 環境の強化

ソリューション

- ・ Wi-Fi 通信速度を従来の 10 倍に強化
- ・ クラウドによる管理で運用負荷を大きく改善
- ・ 管理コンソールで各コンポーネントの状態を一括して把握でき、運用管理の負担を削減

結果～今後

- ・ 来年早々に全客室への Wi-Fi 配備完了予定
- ・ 屋外用アクセス ポイントによるエレベーターやプールなどのカバレッジも計画

シャングリ・ラ ホテル 東京は、香港を拠点としてアジア/太平洋地域を中心にホテルを展開する高級ホテル グループ、シャングリ・ラ ホテルズ & リゾーツの日本初進出のホテルとして、2009 年 3 月 2 日にオープンしました。今回、Cisco Meraki ソリューション（以下 Cisco Meraki）により館内 Wi-Fi 環境の増強を実施しました。

お客様にとって快適な Wi-Fi はあって当たり前、という意識です。Cisco Meraki はクラウドによる管理性も高くコストも安いので、誰でもどこでも導入しやすく、専任者が少ない環境でも最適です。

—— シャングリ・ラ ホテル 東京 IT マネージャー 長谷川 サミ 氏

シャングリ・ラ ホテルズ & リゾーツは、アジア、北米、中東とヨーロッパに 95 軒以上のホテル、40,000 室以上の客室を擁し、さらに中国、カンボジア、香港、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、サウジアラビアやスリランカでの新規オープンに向け各地で開発が進められています。シャングリ・ラ ホテル 東京は、同グループ日本初進出のホテルとして総客室数 200 室、東京駅に隣接する 37 階建ての複合ビル、丸の内トラストタワー本館の最上階 11 フロアに位置し、ラグジュアリー ホテルとして国内外の観光客、ビジネス層からの高い支持を集めています。

課題

シャングリ・ラ ホテル 東京では、ネットワーク回線とワイヤレス機器の老朽化が進み、リプレイスが検討されていました。従来の課題について、シャングリ・ラ ホテル 東京 IT マネージャーの長谷川 サミ氏は次のように語ります。

「IT チームは 2 名の陣容で、スタッフ PC 環境の設定やヘルプデスク業務から館内のネットワーク構築、客室、宴会場などのお客様対応まで幅広く担当しています。2009 年のオープン以来導入している各種ネットワーク機器が老朽化し、不具合や故障も多くなっていました。お客様としてはホテル滞在時の Wi-Fi 環境はもはやあって当たり前、快適に使えて当然、という意識です。ビジネスで訪れるお客様は Web 会議をしたり、デイトレーダーの方はオンライン取引を行う方もいますし、Netflix などオンデマンドの映像を楽しむ方も増えています。

そんな中、もしも不具合があれば当然、コンプレイン（苦情）につながります。実際、我々 IT チームが Wi-Fi トラブルで客室にお伺いすることも非常に多くありましたので、少ない陣容ですから業務負荷は高かったのです。」



シャングリ・ラ ホテル 東京
IT マネージャー
長谷川 サミ 様

今回の更改の大きなきっかけとして長谷川氏は、「ネットワーク機器の更新となると多くの投資が必要のため慎重に検討していたのですが、2019 年ラグビー ワールドカップ、2020 年東京オリンピック、といったビッグ イベントが間近に迫り、刷新を決断しました。」と話します。

検討時、実はグローバルではほかにスタンダードなメーカー機種もあったというが、グループ初となる Cisco Meraki 導入が決定したのだといいます。長谷川氏はその要因について次のように語ります。

「今回、多くの他社製品と比較した際、Cisco Meraki 製品の評判の高さを耳にしました。性能と管理性、提案力もちろんですが、導入コストも非常に重要なポイントですので調べてみたところ、実は Cisco Meraki 製品がもっとも安価に導入可能である、とわかり、評判通り使い勝手もよい、ということで導入を決めました。」

Cisco Meraki 製品がもっとも安価で 評判通り使い勝手もよく、導入を決めました。

ソリューション

Cisco Meraki の魅力について長谷川氏は、「クラウド上にダッシュボード（管理画面）がありモニタリングができること、設定変更も GUI で簡単であること、障害時も遠隔で状況を把握、遠隔対応も可能であること」であったと言います。同ホテルでは専任者の陣容が少ないため、こうした運用管理面は大きな魅力です。

検討、選定を経て構築は 2017 年 2 月に完了しました。

構築がそのタイミングになった理由について長谷川氏は、「2 月に大きなビジネス会議が開催され、最良の Wi-Fi 環境にて進行いただきたいと考え、先遣隊の IT 担当の方々と共に館内のワイヤレスのカバレッジと通信速度を計測しました。なんとか構築タイミングを調整して間に合わせることができ、結果として非常に高い評価をいただきました。カバレッジ、特に通信速度の実測数値には驚かれていました。」と語ります。

客室での通信速度は実測値でこれまで 15 ~ 16 Mbps 程度であったのが更新後は 150 ~ 160 Mbps になり、実に 10 倍になったことになりました。さらに、リプレイス後は障害対応で客室に出向くことはまったくなくなり、IT チームのワークロードも大きく改善されました。

導入製品

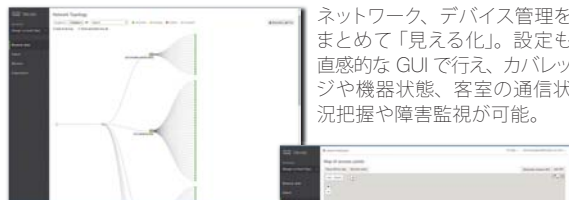


無線 LAN アクセス ポイント
Cisco Meraki MR33 / Cisco Meraki MR30H

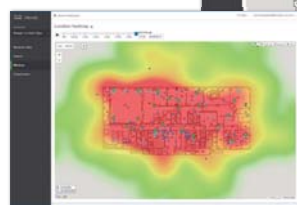


ネットワークスイッチ
Cisco Meraki MS250 / Cisco Catalyst LAN スイッチ 4500

ダッシュボード（管理画面）



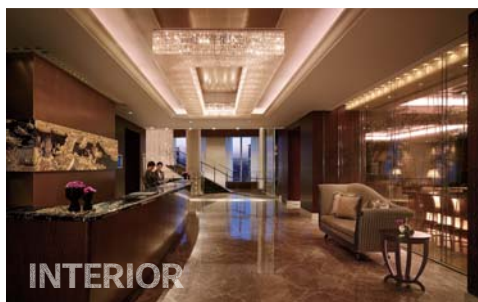
ネットワーク、デバイス管理をまとめて「見える化」。設定も直感的な GUI で行え、カバレッジや機器状態、客室の通信状況把握や障害監視が可能。





LOCATION

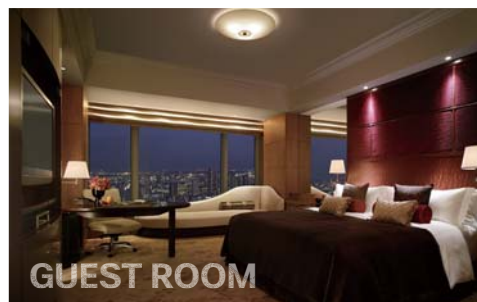
総客室数200室、東京駅に隣接する37階建ての複合ビル、丸の内トラストタワー本館の最上階11フロアに位置し、ホテルからは西側に丸の内から皇居、新宿方面、晴れていれば遠く富士山まで、東側には東京湾から東京スカイツリーまでを広く見渡すことができます。



INTERIOR




Shangri-La hotel
TOKYO



GUEST ROOM

すべての客室は都内で最大級の50m²以上の広さを誇り、31階から37階に位置しています。スイートは全16室、中でも36階のプレジデンシャルスイートは269m²の広さに加え、2フロア分の高さがあり、お客様に広々とした空間でゆったりとお楽しみいただけます。計47室のホライゾンクラブのお部屋とスイートでは、それぞれのお客様のご要望にかなった prestigee なサービスを提供いたします。専属コンシェルジュ、エクスプレスチェックイン/チェックアウトのほか、専用のホライゾンクラブラウンジでは、ご朝食やオールデイティータイム、イブニングカクテルをご用意しております。



RESTAURANT



「ダッシュボードでは客室での通信状況、障害監視が把握できています。過去、客室から映画の違法ダウンロードやアップロードが実行されていてプロバイダから警告を受ける、といった事例もありましたので、Cisco Merakiであればそういった通信を無効にすることもできます。また、メールによるお知らせ機能で結婚式のお客様がチャペルで特殊な映像編集機器を持ち込まれているのがわかり、事前に設定を変更して通信可能にするなど、お客様から見えないところでのサービス向上、といったこともできました。」

また、ネットワーク増強の結果、客室のテレビで上映しているVoDコンテンツの再生が滑らかになった、VoDリモコン操作時のレスポンスが向上した、という効果も得られた。さらには客室フロアのネットワーク機器のノイズがなくなることで、よりラグジュアリー感が向上、という副次的な効果もあったといいます。シャングリ・ラ ホテル 東京 アシスタント コミュニケーション マネージャー 西村 瑛未莉氏はブランディング的な導入効果について「当ホテルは7割近くが海外からのお客様です。Wi-Fiの環境がよい、というのは観光客だけでなく、ビジネスで訪れるお客様にも大きなアピールポイントになります。」と語ります。

結果～今後

Wi-Fiに関しては来年早々に全客室への配備が完了予定。屋外用アクセスポイントによるエレベータやプールなどのカバレッジも計画しています。そのほかではネットワークにおける各種セキュリティ対応、PCIデータセキュリティスタンダードに準拠するべくサーバ室への入室監視用IPカメラ設置などが予定されています。

その他の詳細情報

Cisco Meraki ソリューションの詳細は <https://meraki.cisco.com/ja/content> を参照してください。

Shangri-La Hotels Japan株式会社



所在地 東京都千代田区丸の内 1-8-3
開業 2009年3月2日
部屋数 200室
従業員数 約300名(2017年9月末現在)
URL <http://www.shangri-la.com/jp/tokyo/shangrila/>

シャングリ・ラ ホテル 東京について

シャングリ・ラ ホテル 東京は、シャングリ・ラ ブランドにおける日本初のホテルとして2009年3月2日に開業。東京駅に隣接する37階建ての複合ビル、丸の内トラストタワー本館の最上階11フロアを占めます。総客室数200のホテル内には、2つのレストラン、イタリア料理「ピャチェーレ」、日本料理「なだ万」に加えて、ロビー ラウンジが併設されています。また、6つのトリートメントルームとスパスイートを備えている「CHI スパ」は、古代中国より伝わるヒーリングセラピーを提供しています。2012年トリップ アドバイザーによるトラベルズ チョイス アワード™を受賞するなど、ゲストの皆様の期待を超え、ご満足いただける質の高いサービスをご提供しております。

シャングリ・ラ ホテルズ & リゾーツについて

香港を拠点とするシャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、「シャングリ・ラ」のブランド名で現在95軒のホテルを世界で所有・運営し、総客室数40,000以上を有する、世界有数のホテルグループです。シャングリ・ラ ホテルは、5つ星のデラックス ホテルで、広範囲にわたる高級施設やサービスを提供しています。シャングリ・ラ ホテルは、オーストラリア、カナダ、中国、フィジー、フランス、香港、インド、インドネシア、日本、マレーシア、モルディブ、モーリシャス、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、カタール、シンガポール、オマーン、台湾、タイ、トルコ、アラブ首長国連邦およびイギリスに所在しています。現在当グループは、中国、カンボジア、香港、インド、マレーシア、ミャンマー、サウジアラビア王国、スリランカでプロジェクトが進行中です。

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2017年11月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先